

令和 6 年度
第 2 回宮城県農村振興施策検討委員会

多面的機能支払交付金事業・
みやぎの地域資源保全活用支援事業

現地調査・意見交換

南原ホタルの里保全の会

南原ホタルの里保全隊

(大崎市)

令和 6 年 1 0 月 2 2 日

南原ホタルの里保全の会の概要

- 1 組織名称 南原ホタルの里保全の会
 代表 上野 孝作

- 2 活動区域 宮城県大崎市鳴子温泉字南原地内

- 3 取組期間 平成１９年度～

- 4 構 成 員 ３０人

- 5 活動組織構成集落及び団体
 - (1) 自治会 ：南原振興会
 - (2) その他の団体：南原穴堰水利組合
 堤水利組合
 JA 新みやぎいわでやま営農センター

- 6 認定農用地面積 ２，５２３ a

- 7 交付金額 １，２０８，１１６ 円

（単位：円）

	交付単価	交付額
農地維持支払	田 ３，０００	７５５，２００
	畑 ２，０００	
資源向上支払	田 １，８００	４５２，９１６
	畑 １，０８０	

8 取組のポイント

２個の水利組合が中心となって、平成１９年度の農地・水・環境保全向上対策事業から活動を継続している。生き物調査などの共同活動を地域住民や教育機関と連携して行っているほか、昔から地域に存在するホタルの生息環境の保全や先人が造り上げた伝統的なかんがい施設の維持管理に取り組んでいる。

多面的機能支払交付金事業の取組状況

組織の取組概要

活動組織名	南原ホタルの里保全の会		市町村名	大崎市
取組開始年度	平成 19 年度	構成	集落	南原振興会
			団体等	南原穴堰水利組合　ほか
			構成員	30 名
認定農用地面積	田　2,506 a	畑　17 a	草地　—a	計　2,523 a
農業用施設	水路 11.7Km		農道 5.0Km	ため池 1 箇所
令和 5 年度 交付金	農地維持支払交付金			755,200 円
	資源向上支払（共同活動）			452,916 円
	資源向上支払（施設の長寿命化）			—円
地域の概要	当地区は、東西約 80 kmにおよび、南は松島町、北は秋田県、西は山形県と隣接している広大な大崎市の北西部に位置し、大谷川の支流である東遠鈴沢と岩堂沢を水源とした農村地帯である。 また、4 種のホタルが見られる南原ため池や世界かんがい施設遺産である南原穴堰がある南原集落は、近隣には中山平温泉等の他の観光資源もあり、鳴子温泉地域全体の魅力にもなっている。			
組織体制	農地・水・環境保全向上対策事業が開始された平成 19 年度より、自治会や水利組合等による活動組織として、農地維持を中心に活動を継続している。			
取組概要	【農地維持支払交付金】 ○農用地：草刈り 年 2 回、遊休農地発生防止保全管理 年 2 回 ○水路：草刈り 年 2 回、泥上げ 年 2 回、降雨後随時ゴミ上げ ○農道：草刈り 年 2 回 ○ため池：草刈り 年 2 回 ○点検：毎年春、4 月に実施（降雨後巡回） 【資源向上支払（共同活動）】 ○生物の生息状況の把握 ○伝統的施設の保全 ○農用地・水路・農道・ため池の軽微な補修 ※春普請の作業時には南郷高校の学生も参加して穴堰水路の作業を行っている。			

取組の効果	農用地、施設等の維持管理による保全のほか、生き物調査等の活動を通じて、農家、非農家を問わず地域コミュニティの交流につながっている。 また、先人たちが造り上げ、今もなお地域で維持管理しながら使われている「南原穴堰」については、”歴史的価値がある生きている遺産”として高く評価され、令和 6 年度に ICID（国際かんがい排水委員会）にて『世界かんがい施設遺産』に認定された。
今後の課題	担い手等への農地の集積、農業従事者の高齢化等により、農業者の減少が懸念されている。今後の管理体制を維持するためにも、地域の各団体が一体となり、解決策を考えていかなければならない。

南原ホタルの里保全隊の概要

- 1 組織名称 南原ホタルの里保全隊
 ふるさと水と土指導員 上野 孝作

- 2 活動区域 宮城県大崎市鳴子温泉字南原地内

- 3 取組期間 平成30年度～

- 4 構 成 員 ふるさと水と土指導員、南原地区の住民、大谷川流域の農地所有者

- 5 対象施設 大谷川の水源地域、南原穴堰、南原ため池

- 6 交付金額 150,000 円

(単位:円)

	交付額
調査研究事業	0
推進事業	150,000

7 取組のポイント

ふるさと水と土指導員が中心となって、平成30年度から活動を継続し、地域に存在する、先人が造り上げた伝統的なかんがい施設やホタルの棲みかになっているため池の清掃活動を行いながら、視察・見学の受入れや啓発普及活動も行い、地域資源の魅力発信に取り組んでいる。

みやぎの地域資源保全活用支援事業の取組状況

1 組織の取組概要

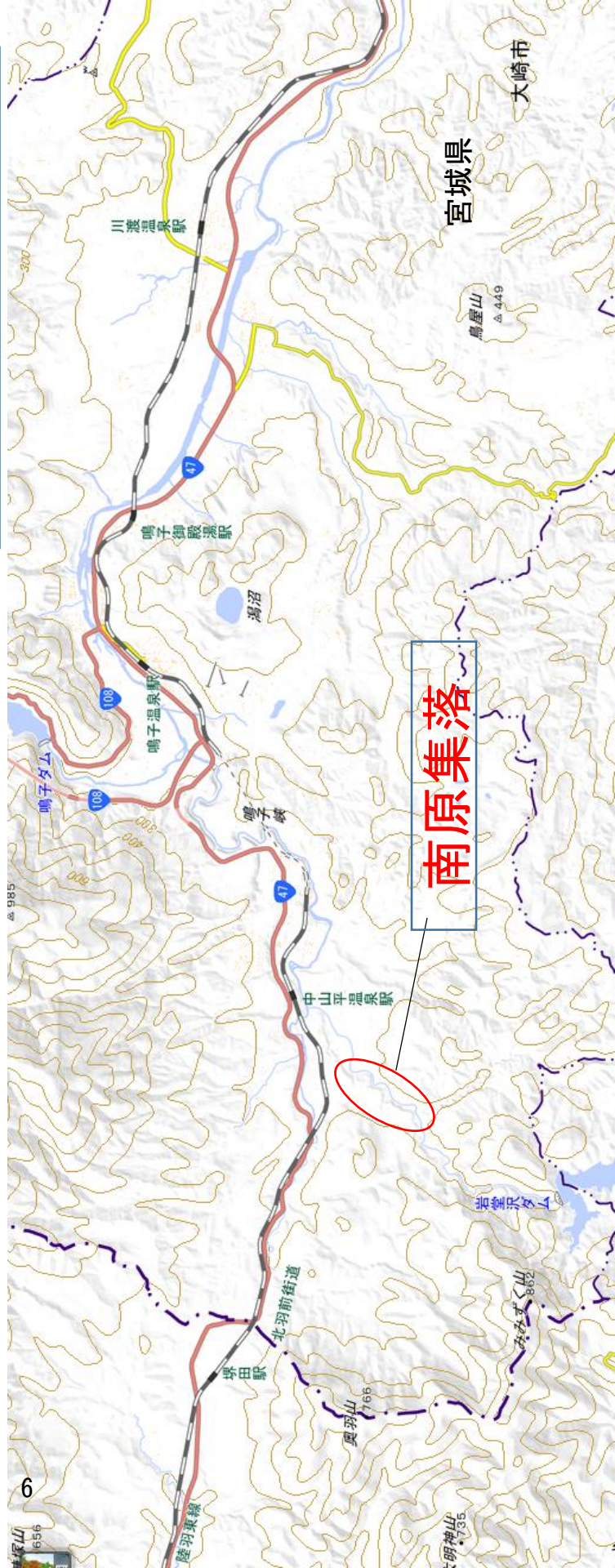
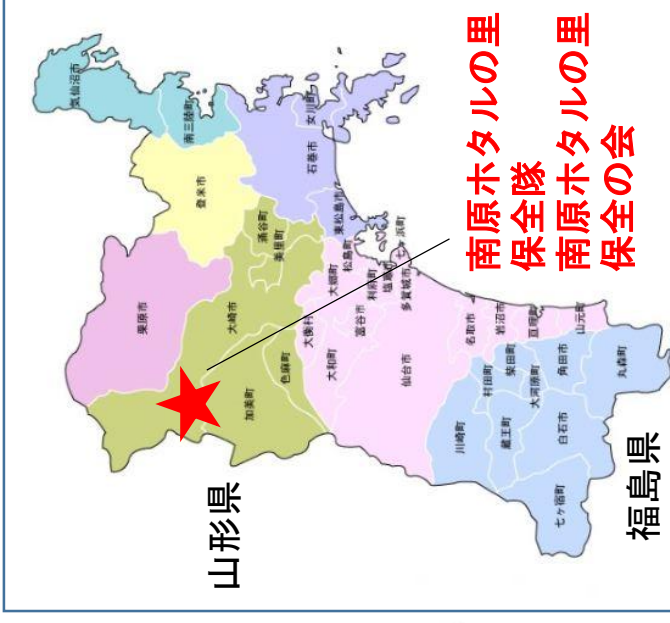
組織名	南原ホテルの里保全隊	市町村名	大崎市
取組開始年度	平成30年度		
保全施設	南原穴堰、南原ため池		
令和5年度 交付金	調査研究事業	－円	
	研修事業	－円	
	推進事業	150,000円	
地域の概要	当地区は、東西約80kmにおよび、南は松島町、北は秋田県、西は山形県と隣接している広大な大崎市の北西部に位置し、大谷川の支流である東遠鈴沢と岩堂沢を水源とした農村地帯である。 また、4種のホテルが見られる南原ため池や世界かんがい施設遺産である南原穴堰がある南原集落は、近隣には中山平温泉等の他の観光資源もあり、鳴子温泉地域全体の魅力にもなっている。		
組織体制	平成19年度から取組んでいる農地・水・環境保全向上対策事業（現在は多面的機能支払交付金事業）に取組ながら、平成30年度より新たに、みやぎの地域資源保全活用支援事業を始め、現在も活動を継続している。		
取組概要	○対象施設の案内看板の設置 ○視察・見学の受入れ ○清掃除草作業		
取組の効果	地域資源の魅力発信等の啓発普及活動の効果もあり、対象施設への見学者や外部からの視察も多く、交流人口の拡大に寄与している。 また、先人たちが造り上げ、今もなお地域で維持管理しながら使われている「南原穴堰」については、”歴史的価値がある生きている遺産”として高く評価され、令和6年度にICID（国際かんがい排水委員会）にて『世界かんがい施設遺産』に認定された。		
今後の課題	担い手等への農地の集積、農業従事者の高齢化等により、農業者の減少が懸念されている。今後の管理体制を維持するためにも、地域の各団体が一体となり、解決策を考えていかなければならない。		

○南原集落の位置

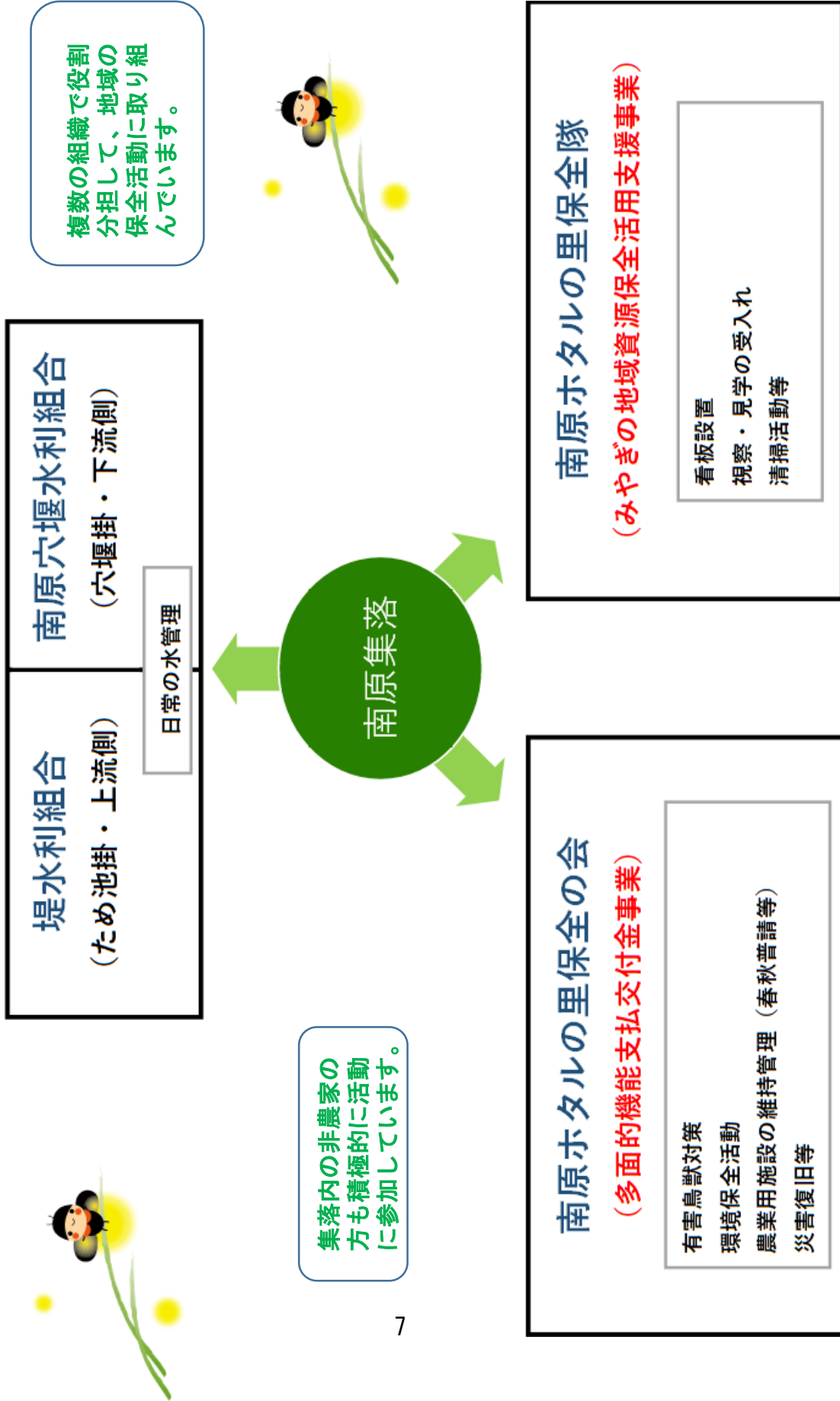
- ・大崎市は宮城県北西部に位置し東西約80kmに及ぶ。旧鳴子町地域はその北西端、山形県や秋田県と接する山間地域にあり、5つの温泉からなる泉質・湯量豊富な鳴子温泉郷が全国的にも有名である。
- ・旧鳴子町地域の西部、山形県境に中山平温泉で知られる中山地区がある。
- ・江戸時代には伊達藩の藩境にある要衝の地であった。
- ・南原集落は中山地区を構成する集落の1つである。



すべすべ美肌の湯
中山平温泉



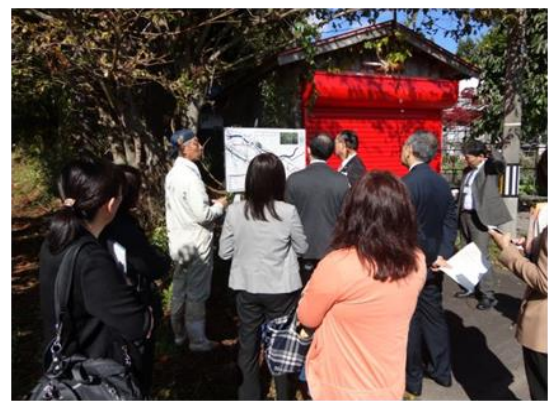
○南原ホタルの里保全の会等の連携体制



南原ホタルの里保全の会等の取組活動

	
No.1 南原穴堰	No.2 南原穴堰隧道内部
	
No.3 「南原穴堰」が世界かんがい施設遺産に認定	No.4 南原ため池
	
No.5 南原ため池のホタル	No.6 生き物調査

南原ホタルの里保全の会等の取組活動

			
No.7	看板設置（啓発普及）	No.8	視察受入れ
			
No.9	穴堰水路の江払い（春） ※南郷高校の生徒や教職員も参加	No.10	穴堰水路の江払い（秋）
			
No.11	ため池水路の江払い（春）	No.12	ため池水路の江払い（秋）

南原ホタルの里保全の会等の取組活動

	
No.13 堰払い	No.14 ため池への柵設置
	
No.15 有害鳥獣対策	No.16 南原穴堰災害復旧作業